



興部町公営塾『つなぐ』

# つなぐ。

## 議会だより

令和6(2024)年11月15日【第176号】

- 第3回町議会定例会 2㊟～3㊟・7㊟～8㊟ ■町政ここが聞きたい 4㊟～6㊟ ■議員活動報告 8㊟
- 各会計歳入歳出決算認定 9㊟～10㊟ ■北海道町村議会議員研修会 11㊟ ■総務社会常任委員会所管事務調査報告 12㊟
- 産業建設常任委員会所管事務調査報告・議会の動き 13㊟ ■今回の表紙・編集後記 14㊟

# 令和6年第3回 町議会定例会のあらまし

令和6年第3回定例会は、9月19日(木)開会され、行政報告、議案9件、認定1件、同意1件、報告1件、発議1件、計13案件が審議され、27日提案されたすべての案件の審議が終了し閉会しました。

## 町長行政報告

### 新型コロナウイルス ワクチンの定期接種 について

令和2年から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も昨年5月8日に感染法上の位置づけが2類相当から5類感染症に移行したことにより、様々な行動制限がなくなり一応の収束を見たところですが、感染症が完全に治まったわけではありません。

コロナワクチンの接種については、令和6年度より予防接種法のB類定期接種に区分されたことから、インフルエンザワクチン接種と同様に低所得者等を除き一部自己負担があります。65歳以上の方及び60歳から64歳までの重症化リスクの高い方を対象として、年1回秋冬に定期接種を行うことになり、当町では10月からワクチン接種を国保

病院において開始していきます。

また、任意接種を希望される方は全額自己負担となりますが接種は可能です。なお、町民の皆様への周知につきましては、町からのお知らせ(9月中旬号)にてご案内しているところです。

### イオン環境財団との 植樹祭の実施について

去る7月30日、興部町、公益財団法人イオン環境財団、オホーツク中央森林組合の三者の間で「森林保全活動および管理活動等に関する協定」を締結しました。

この協定は、北海道が取り組む「ほっかいどう企業森林づくり」の制度を活用し、三者が連携して森林が持つ多面的機能の発揮を推進し、次代にみどり豊

かな自然環境を引き継ぐため、植樹をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでいきます。

具体的には、本協定に基づき防風林を更新し持続的に保全することを目的に植樹を実施するもので、町内宮下地区のトドマツ防風林3ヘクタールを5年計画で更新する計画です。今年については9月21日(土)にボランティアの町民142名を含む約300名が参加し、3千本の植樹を行う予定です。



イオン環境財団との植樹祭

## 国保病院常勤医師の 退職について

昨年10月1日より勤務されていまして「山口なつき 医長」は、一身上の都合により非常に残念ではありますが、8月31日をもって退職しました。このことにより、診療体制が一部変更となります、ご不便をおかけしてありますが、今後も医師の確保に努めていきますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

## 農作物の作況

本年の1番牧草は、5月下旬に寡照と降水及び低温傾向であったものの、6月に入って気温が高く推移したこと、生育・収量ともに平年並みとなりました。また、収穫作業は平年より早く始まったため、6月中旬から下旬にかけて所々で降水が見られましたが、平年より早く終えています。2番牧草は、7月の気温



が高く推移したことから生育は順調に進みましたが、7月下旬以降の断続的な降水と寡照により、収穫がやや遅れている状況です。  
また、飼料用トウモロコシの生育は平年並みとなっています。

### 生乳生産の状況

8月31日現在、4万7千696・4tで、計画対比98・7%、前年対比99・1%となっています。

### 林業関係の状況

本年度計画していました造林地の下刈、宮下地区の皆伐工事については事業を完了し、朝日地区の植栽工事については、発注済みです。

### 漁業生産の状況

8月末現在、全体水揚量は1万4千300tで、前年同期比666tの増とな

っています。主な漁獲量については、毛ガニ漁では計画対比100%の29・6tで、漁獲許容量を全量消化し、5月10日に漁を終えています。

ホタテ漁は計画対比76%の1万2千977t、前年同期比562tの増です。

また、マス定置網漁は7月16日に水揚げが開始され、前年同期比24t減の19t、サケ定置網漁は9月4日より水揚げが開始されて

おり、漁獲量及び価格ともに、今後の好漁を期待するところです。

### 建設工事の発注状況

9月1日現在、土木・水道工事、建築工事とも、予定工事につきまして全て発注済みとなっています。



西2丁目道路改良舗装工事

主役は  
あなたです！

## 議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は 12 月です○

会期:12月12日(木)～13日(金)(予定)

一般質問:12月12日(木)(予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※傍聴時には、手指の消毒にご協力をお願いいたします。  
マスクの着用は、個人の判断でお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 TEL 82-2135

# 町政ここが聞きたい!!

一般  
質問

問

興部町における男女共同参画の  
取り組みについて 大黒敦子議員

答

具体的な取り組みになるよう意識  
改革から進めたい 裕 一寿町長



大黒 議員

平成11年に男女共同参画  
基本法が制定された。男女  
共同参画社会とは、意思決  
定の場に女性が増えたり、  
男性が子育てに参加しやす  
くなった等の環境が整備さ  
れた状態を指す。「参加」  
ではなく「参画」という言  
葉には「仲間に加わる」だ  
けで物事の決定に至るまで  
相談や議論の場に加わり  
「男性も女性も主体的かつ  
平等に意思決定のできる社  
会を作り出す」という姿勢

が表れている。

興部町では総合計画の中  
で男女共同参画に触れられ  
ているが、現在町で行われ  
ている取り組みや当町の現  
状をどのように考えるか。

裕 町長

北海道では第3次男女平  
等参画基本計画を策定して  
いるが、当町では積極的な  
働きかけをしては来なかつ  
た。女性職員の管理職の登  
用は定年退職者12名中6  
名、各種審議委員会の女性  
委員は平均では14・7%で  
全道平均より低い数値であ  
る。どうすれば、女性が  
様々な活動に積極的に参画  
していただけるか、意識改  
革から取り組む必要がある  
と考える。

大黒 議員

基本法の中に市町村男女  
共同参画計画を定めるよう  
努めることを求められてい  
る。現在7割以上の道内市  
町村が条例や計画を策定し  
ている。

興部町において産業が持  
続していくためには、今後

ますます女性の参画が必  
要。また、自治会、防災会  
議などに女性の感性も大事  
なのではないか。女性部組  
織も少なくなっている現  
在、女性の要望が汲み上げ  
づらい状況であり、意識し  
て女性の声を拾い、積極的  
に組み入れることは必要と  
思う。

行政は法律や条例に基づ  
いて物事を動かす。文字に  
残すことは、政策を打つ時  
の根拠となる。男女共同参  
画条例、計画を作成するこ  
とは私たちのまちはここを  
目指すという意思表示であ  
ると思う。条例や計画の策  
定に取り組んでいく考えは  
ないか。

裕 町長

興部町の産業を推進した  
り、子育て、介護といった  
一生のサイクルを皆で守つ  
ていこうとする男女がとも  
に活躍できる環境作りは、  
まちづくりの視点としても

非常に大事であると考え  
る。本町が進めるべきは条  
例制定、計画策定ではある  
と思うが、具体的なことは  
まだ何もしていない状況で  
ある。まず、北海道が示し  
ている基本計画の中の3つ  
の目標（意識の改革・環境  
づくり・安心して暮らせる  
社会の実現）を参考に何  
をするべきか、何を見直す  
か考え取り組みを進めてま  
いりたい。

大黒 議員

この問題は、声なき声に  
耳を傾け、目を凝らしてい  
く事が大切な事。男だから、  
女だからこうあるべきとい  
う意識はまだまだ根深く心  
の奥底にある。

男女共同参画を進めるこ  
とは、女性が声を出しやす  
い、暮らしやすい興部にな  
っていく事だと思う。少子  
化対策としてももっとも重  
要な部分だと言われている  
し、寛容性の高い地域に住  
んでいるものほど地域にと  
どまりやすい、寛容性の高

い地域の出身者ほどUターンしたい意向が高い統計結果もある。人口対策であり、町の活性化対策でもあると思う。実効性のある男女共同参画を目指していただきたい。

裕町長

ジェンダーギャップが最下位であるという事実が、これからのまちづくりにとって、キーワードになるのではない。今興部にいる人だけではなく、海外から来られる方、Uターン、Iターンされる方を含めて男女共同参画を進めていく事は、人口減少、少子化対策、高齢者対策、全てに影響することだと共感する。取り組む担当部署を決め、議会や町内会や自治会連合会等々、議論をしていきたい。

問

裕町長の出張及び職員の退職問題について  
竹内 清議員

答

少しずつセーブし、職員の管理も含め対応し反省している  
裕 一寿町長



竹内議員

昨年の質問で興部ファースト、町民ファーストで興部の舵取りをお願いしたところ「興部の町長です。興部の発展の為に努力して参る事をお誓いします。」と果たして町民は今どう思っているでしょう。議会報告会で「町長は東京や札幌にしょっちゅう行っている。それが町に反映されているか、町民の喜び、地域の為になっているか。」という意見がありました。昨

年4月1日から今年3月31日までの1年間、土日祝日を引くと246日が平日です。その内157日約63%が出張、興部にいるのは約36%に過ぎません。この数字でも、職員の管理責任に疑問持たざるを得ません。町民の率直な疑問、どれだけの恩恵が、町の発展に繋がっているのか。

裕町長

役場にいないとの声は聴いています。少しセーブし職員の管理も含め対応していかねければと反省し、今更ながら申し訳なく思っています。

竹内議員

8月18日から30日までのブラジル移住105周年、

パラグアイ移住85周年式典、帰国後も会議で、約半月離れています。今回の海外出張、北海道町村会会長が欠席の中、出席した経緯は。

裕町長

会長は他の用務があり、筆頭副会長が体調が悪いという事で、三番手の私が受け職員、幹部と話し出席した。

竹内議員

7月現在全国で4役、北海道で23役、管内で6役、遠紋で6役と39役あります。少し役割を減らさなければ健康面でも心配ですし、月に何度も東京往復や日に違う会議と大変と察します。管内会長、道町村会副会長として「この役職はどこの町長」と振り分けは出来ないのか。

裕町長

私も多すぎると思っていますので、漁港漁場協会は、雄武町長に譲りました。バイオマス産業都市推進協議会も来

年新しい方に委譲。北海道農業公社の評議員も別海町長にお願い、出来るだけ減らすよう今対応している。

竹内議員

昨年9月の質問後にも6人の退職者が出ています。6月には2人の管理職が一度に退職これには管理責任があるのでは。町長の発言です「ハラスメントは訴えないと調べない。」訴えられたら遅いです。その前の対応が必要です。「噂も多々あった。」噂を聞いていたのに対応しなかった完全に管理責任放棄です。「ある課の退職者が多かった。」昨年の質問では、たまたまで、特別な問題があり増えている状況ではないと発言。その後噂はあった等、答弁とあまりにも違っているのはなぜか。

裕町長

職員の退職について、全く私の責任だと自覚し、お詫び申し上げます。当時11



人が退職し病気や転職が重なったことをたまたまと表現したが、6月の退職の部分で誤解を生んだのなら非常に申し訳なく思っていますし人事異動も私共がやっているので私の責任だと思っています。

#### 竹内 議員

退職の原因について噂や退職者が多いのはなぜかきちんと追及していれば、昨年から退職者を減らすことが出来たのではないかと退職者が増え職員数減少に対し、処理すべき業務量は増加。雑巾を絞るというより、乾いた雑巾を更に絞れと言っていると感じます。人員配置や平時と非常時のバックアップ体制、有休等の働き方の見直し、人事諸制度をトータルに見直す機会の中で、町長は全ての課に回す。理解はしますが時代とはずれている感があります。適材適所の配置を行い個人の能力と意欲の向上を図り組織力を高める観点か

ら異動に関する自己申告制を導入している市町村も多くあります。仕事を覚え理解し色々なタイミング等で今やりたいこと、行きたい部署などを聞く機会を作り職員の声を反映させる検討は必要ではないか。

#### 裕 町 長

人事管理、採用について十分に検討したいと思っていますが、財政、税務とかきちんと勉強してほしいと未だに希望を持っておりますが、それが本当にいいのか検証をしなければと思っています。

#### 竹内 議員

残業が増え、有休が消化されない状態はないか。メンタルヘルスの不調が心配で昨年質問しましたが、退職原因の追究どころか、ハラスメント対策もまだ行われていない。職員の問題、退職、労働環境整備を軽んじているのではと感じます。「人は財産・宝です。」

一般市町村では、労働監督義務は、自治体の長があたります。町長が残業させ町長が残業するなど取り締まることになりません。その場のしのぎの対応、措置ではなく諸課題は一つの課だけでなく密接に関連していますので人事政策全体を見直し、トータルで組織全体を考えては。

#### 裕 町 長

ハラスメント対策に対して十分ではなかったと反省していますし、今の離職だと働く環境整備は、正に反省をしなければならぬ。今まで続けてきた働き方、管理がいいのか今後早急に検討し、労働組合、管理職の意見を聞いてまとめていきたい。

#### 竹内 議員

ハラスメントの防止策に単独条例を制定している自治体があるのに対し、当町は遅い。ハラスメントは受けた側

が訴えるのはもちろん聞いた人、目にした人が発言できる風通しの良い対策をしてほしい。メンタルヘルスの不調の原因はなにか、ハラスメントはないか。小さな問題が大きくなる前の対応が必要で、その問題を隠す体質が一番の悪です。問題があったらそれを認め対応し全職員に報告する。それが職場環境の改善、働き方改革の一步ではないか。ハラスメントが無いようにする為には、小さな問題が大きくならない様に、噂を聞き流さず、なぜそこに煙が立ったのか、しっかりと検証していただきたい。

#### 裕 町 長

最初からの指摘、最もだと思っと思っています。私を含めて取り組みが不十分であったことをお詫び申し上げ、管理責任のある私、副町長含めて体制を見直し、風通しのいい体制を作っていく外部機関の設置等対策を整備して行きたい。

## 興部町議会ホームページのご案内

興部町議会のホームページには、過去 10 年間の議会だよりを掲載しています。議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

#### ■ホームページアドレス

<https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



## 令和6年度興部町一般 会計補正予算(第3号)

補正額は、5千277万円を追加し、歳入歳出それぞれ56億6千564万円とし、原案どおり可決しました。

### 歳出の主なもの

○農業総務費一般経費

2千340万円増

〔配合飼料費の高騰による生産者への支援に係る補助金〕

○簡易水道事業会計負担金

660万円増

〔簡易水道事業会計への負担金〕

○町道維持管理事業

600万円増

〔7月の降雨による町道の補修に係る経費〕

○予防接種事業

345万円増

〔新型コロナウイルスワクチン代金  
が当初の見込みより高額  
となったことによる委託  
料の増による経費〕

○過年度過誤納還付金

242万円増

〔令和5年度国庫負担金等の確定に伴う過年度過誤納還付金の増による経費〕

## 令和6年度興部町一般 会計補正予算(第4号)

補正額は、480万円を追加し、歳入歳出それぞれ56億7千44万円とし、原案どおり可決しました。

### 歳出の主なもの

○簡易水道事業会計負担金

480万円増

〔簡易水道事業会計への負担金〕

## 特別会計等補正予算

特別会計等5会計で補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

①令和6年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、20万円を追加し、総額5億7千341万円としました。

・国保事業状況報告システ

ムクラウド改修に伴う国

保連合会負担金の増額

②令和6年度興部町介護保険事業特別会計補正予算

(第2号)

補正額は、2千148万円を追加し、総額3億9千484万円としました。

・一般介護予防事業の消耗品費、令和5年度国庫支出金等の確定に伴う諸返還金の増額

③令和6年度興部町簡易水道事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的収入及び支出の簡易水道事業収益を660万円増額し、収入総額を3億76万円とし、簡易水道事業費用を637万円増額し、支出総額を2億8千305万円としました。

・配水及び給水施設修繕費の増額

・原水及び浄水施設修繕費の増額

・豊野浄水場取水施設汚泥処理業務委託料の増額等資本的支出を23万円増額し、支出総額を1億1千

624万円としました。

・超過勤務手当の増額

④令和6年度興部町簡易水道事業会計補正予算

(第3号)

補正額は、収益的収入及び支出の簡易水道事業収益を480万円増額し、収入総額を3億556万円とし、簡易水道事業費用を480万円増額し、支出総額を2億8千785万円としました。

・配水及び給水施設修繕費の増額等

⑤令和6年度興部町公共下水道事業会計補正予算

(第1号)

補正額は、収益的支出の下水道事業費用を55万円増額し、支出総額2億7千38万円としました。

・処理場修繕費の増額等資本的収入及び支出の資本的収入を51万円増額し、収入総額を1億421万円と

し、資本的支出を210万円増額し、支出総額を1億3千867万円としました。

・住宅の新築等による公共

樹新設工事の増加に伴う

工事請負費の増額等

⑥令和6年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的支出の病院事業費用を470万円増額し、支出総額を8億4千937万円としました。

・新型コロナウイルス定期接種開始によるワクチンの購入費の増額

## 改正された条例

○興部町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

## 同意した人事案件

○興部町教育委員会委員の任命  
つづみだかつひこ  
堤田克彦氏の再任に同意しました。

## その他議決された案件

○令和5年度普通会計等財政健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告

## 意見書の採択

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 鈴木 精一議員  
賛成者 竹内 清議員  
賛成者 矢野 幸三議員  
賛成者 阿部 昭一議員

・北海道は、豊かで美しい自然環境に恵まれ、広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食を強みに我が国の食料供給を担うとともに、特有の歴史・文化や気候風土などを有しており、これらの独自性や優位性を生かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している。

本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害など多くの課題を抱えている。「食」や「観光」に関連する地域が持つ潜在力を最大限発揮させるためには、平常時・災害時を問わ

ない安定した物流や広域周遊観光を支える道路ネットワークが必要不可欠である。加えて、積雪寒冷地である本道では、安定した除排雪体制の確保など、冬期間の住民の安全・安心を確保することが必要である。賃金水準などの上昇も加味した上で、山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設及び必要な予算を確保すること。

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進はもとより、その後も切れ目なく継続的・安定的に取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保すること等を求める意見書を提出する。

## 議員活動報告

### 議会全員協議会

議長 藤渡 昭博  
9月6日、9月24日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

#### 9月6日

○令和6年度人事院勧告について

○会計年度任用職員の給料月額及び報酬額の改定について

○ハラスメント対策の実施について

○茨城県阿見町との地域交流連携事業について

○補正予算について（商工会プレミアム付き商品券事業）

○空き家・空き店舗の利活用と移住・定住に対する支援（案）について  
○新型コロナウイルス定期接種事業について

①接種事業の概要と費用

について

②接種体制・接種方法について

○認定こども園施設整備事業の進捗について

○興部町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

○飼料高騰支援対策事業について

○イオン環境財団植樹祭について

○産後ケア事業について

#### 9月24日

○簡易水道事業会計補正予算の追加提案について

### 議会運営委員会

委員長 前田 義雄

9月12日、9月27日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

#### 9月12日

○令和6年第3回議会定例会の運営について

○議会議員の請負状況の公表について

○興部町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について

○タブレット端末導入にかかる興部町議会会議規則の改正（案）の検討について

#### 9月27日

○令和6年第3回議会定例会の運営について

### 議員なり手不足検討特別委員会

委員長 竹内 清

9月6日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

#### 9月6日

○なり手不足検討特別委員会の検討項目について  
・議員報酬（報酬改定の申入れ）について



# 令和5年度 各会計歳入歳出決算認定

令和5年度興部町各会計決算認定は、議員全員による決算審査特別委員会が設置され、委員長に前田義雄委員、副委員長に桑辺博教委員を選出しました。同委員会は、9月19日、20日、24日の3日間にわたり全体会議方式で詳細に審査を行い、採決の結果、原案どおり認定しました。

また、委員会から、『ふるさと応援寄附事業に関し、これまでの事業内容についてしっかりと検証し、町が委託先である観光協会、関係する企業と連携を強化し、今後、ふるさと応援寄附事業の拡充に向け、さらなる取り組みを進めていく必要がある。』ことを意見・指摘事項としました。



## 決算審査特別委員会での質疑

### 【総務課所管事項】

(桑辺 博教 委員)

Q 職員の健康診断の受診率

が少なかつた理由は何か。

A 受診勧奨は行っているが、通院をされていて病院で検査を受けている職員や、仕事などの理由で受けていないという職員もいるので、結果として全員が受診とはなっていない。

Q 紋別空港を利用された人に補助金を出しているが、令和5年度の利用実績は。

A 町民の利用実績は1年間で1千44人。

### 【税務財政課所管事項】

(竹内 清 委員)

Q 興部町の町民が他の市町村にふるさと納税をしたの

で、町としていくら減りましてということ把握できないのか。

A ワンストップサービスという制度を利用される方については、人数と金額は把握出来るが、確定申告だとふるさと納税のみの把握はできない。

### 【まちづくり推進課所管事項】

(鈴木 精一 委員)

Q バイオオマスの再生可能エネルギー活用推進事業で、予算では、ヒトデ堆肥分析手数料の予算組みをしていたが、事業を実施しなかった理由は。

A ヒトデを使って、バイオガスプラントの戻し堆肥敷料を肥料として販売に向けた計画を立てていた。

肥料に関する法的な基準はクリアできるとしたが、有害物質であるカドミウムが含まれていることに、関係機関からは肥料として利用するのは難しいのではとの見解であったことから、販売に向けた成分分析を行わなかった。

(大黒 敦子 委員)

Q 観光協会が実施している高校生の商品開発事業の成果は。

A 食べ物だけではなく、道の駅のブランディングを行い、高校生の目線からどんなまちづくりをしたいか、高校生がプレゼンテーションを実施した。

その他に、修学旅行で興部町を紹介するパンフレットを作り、PR活動を実施した。

(竹内 清 委員)

Q ふるさと応援寄附金が当初の目標だった8億円に対して、8千100万円減額

補正をしているが、その反省点はないのか。

A 昨年10月の制度改正で、かなりの件数が制度改正前に駆け込みで寄附をいたしていた。その後も年度末に向けて寄附の増加を見込んだが、結果として予算は減額となったが、実績では、昨年より寄附額が少し増加となった。

これまでの寄附単価が1万円以内であったが経費率が50%以内の厳格化で、今現在1万2千500円程度の寄附単価となっている。

今後、この寄附単価を上げると寄附者が減少する心配もあるが、商品の魅力化、ブランディング、広告の出し方など、観光協会と検討していきたい。

### 【住民課所管事項】

(大黒 敦子 委員)

Q 公衆浴場の収入及び利用者の令和5年度の実績は。

A 令和5年度の収入は、126万6千300円で、利用者数は、2千670名。

令和5年度 各会計歳入歳出決算認定

【福祉保健課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 敬老会運営事業での敬老会謝礼の支払先は。

A 敬老会は式典とアトラクションの二部構成になっており、アトラクションに対する謝礼として文化連盟へ支出している。

〔大黒 敦子 委員〕

Q ハイヤー利用助成事業で高齢者のみでなく妊産婦も対象になっているが利用実績は。

A 妊産婦の方については、出産の届け出の時等でハイヤーチケットを配布しているが、昨年の実績は無かった。

【産業振興課所管事項】

〔鈴木 精一 委員〕

Q 次世代人材投資事業について詳しく聞きたい。

A 新規就農者3件の補助金。

Q 森林環境保全整備事

業の予算では、山形県最上町の本質バイオエネルギー施設視察旅費を組んでいるが、その視察の目的と今後の展開は。

A 今後、林業振興として、木質バイオマス事業を視野に入れ視察を行った。

Q 今後、木質バイオマス事業を展開する方向で考えているということか。それは何年度からの考えか。

A 今後、木質バイオマス事業として、木質チップボイラーを活用した施設の暖房、ロードヒーティング等を考えている。

何年度から実施するのか具体化されていないが、今後は道の駅の整備も出てくると思うので、事業計画等を策定していく中で、駐車場のロードヒーティング等に活用を考えている。

【建設課所管事項】

〔鈴木 精一 委員〕

Q 樋門・樋管管理受託事業の樋門・樋管の数と委託人数管理者に対する損害保険の保障内容は。

A 樋門の箇所数は、55箇所、管理者は、21名、1人あたりの基本保障として、死亡した場合200万円、入院で日額3千円、通院で日額1千円となっている。

Q 都市計画事業の都市計画審議会が開催されるタイミングは。

A 都市計画の用途や計画に変更が伴う際に開催している。例として、都市計画の用途地域、容積率や建ぺい率の変更、マスタープラン等の計画策定や計画変更等の場合に開催。

【教育委員会管理課所管事項】

〔大黒 敦子 委員〕

Q 学校給食費の関係で食料費高騰により、給食費の他にも食料費の支出をしていると聞いているが、令和5年度の実績は。

A 給食センターの賄材料費で補正を含め約380万円を補正して、値上げ分や地元食材の経費に係る負担を賄い、児童・生徒に対する給食費は、据え置いている。

【教育委員会社会教育課所管事項】

〔桑辺 博教 委員〕

Q 町営スキー場のリフト使用料の減収は、利用者が少なかったとの説明であるが、社会教育施設利用状況では、前年度比7千25人が増えている。

A 昨年は、スキー場のオープン期間が前年より1週間ほど長く、利用者の増加になっているが、シーズン券での利用者が多く、1日券・回数券での利用者が減っているため、リフト使用料の収入が減った。

【上下水道課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 職員人件費で、降雨などの緊急時により超過勤務手当が発生しているのは分かるが、年間を通して残業時間の上限をオーバーしないように保たれているのか、人は足りているのか。

A 超過勤務の時間は、仕事の特性があり、漏水が発生

すると夜間、或いは休日出勤すること多い。職員の人数は水道施設管理係以外の管理係、下水道施設係の職員と協力しながら業務にあたっている。

Q 代休・有休をきちんと取れるような体制か。

A 緊急時の対応で休めない場合もあるが、概ね取得できている。業務の特殊性というところがあるので、職員には理解をしていただきながら、今後も職員の負担、加重労働にならないように対応していきたい。

【国民健康保険病院所管事項】

〔大黒 敦子 委員〕

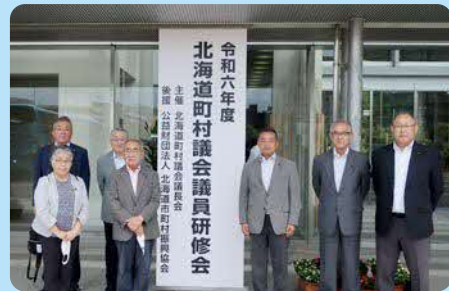
Q 病院の経営改善案として、療養病床の利用率を上げる為の考えは。

A コロナをきっかけに高齢者施設からの入院が減っている状態ではある。今後の療養の利用率を上げることが難しいところもあり、これ以上増えていくか不安視している。今後の課題として、療養をどうするか考えていきたい。

## 研修報告

# 北海道町村議会議員研修会

7月2日 全道144市町村約1千400名が札幌コンベンションセンターに参集し、北海道町村議会議長会主催による研修会が行われました。また、7月3日には興部町議会議員研修を北海道大学農学研究院で行いましたので、概要を報告いたします。



## 1、全道議会議員研修

「札幌が東京より暑くなる!?」  
「加速する気象変動」

気象予報士 森 朗氏

地球温暖化の中で局地的な豪雨や豪雪、農業、漁業への影響が顕著である。気候の変化が起きるスピードが速くなっているのが問題で、過去の例を基準にして対策をしていては追いつかない。

世界レベルでは二酸化炭素の排出量を少なくし、吸収する抑制対策が必要。個人や自治体では生物多様性を保全すること、災害から身を守る適応力を身に付けることが必要。

「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自戒を含めての所感」

元衆議院議長 大島 理森氏

民主主義は自治体政治の根底にある。郷土の在り方は、人口減少をどうとらえるか。都会に少なくても町、村に多い資本は人間関係の温かさという資本である。数字の競争ではなく、町や

## 2、興部町議会議員研修

「協働の農村づくり 興部町の取り組みから見えること」

北海道大学大学院農学研究院  
地域連携経済学

准教授 小林 国之氏

平成20年より、興部町の住民主体の地域づくりの活動をサポートしている。学生が各種の興部町の事例を調査した結果も踏まえ、お話しいただいた。

人口動態から見ると、興部は社会減対策が必要なことが読み取れる。大切なのは、社会減となる原因を突き止め実効性のある対策が打てるかだ。

興部町には、外国人も含め多様な町民がいる。そうした人とながらまらまちづく

りの仕組みが必要。自分たちの暮らし、環境を良くしようというのが「まちづくり」。町や人を知ることによって愛着が生まれる。その後移動するとしても、関係人口になる可能性はある。更に、協働のまちづくりの仕組みを真剣に考える必要がある、今のままではもったいない。多様な人を巻き込んでいく仕組みが必要と考える。

「自伐型林業の特徴と意義」

北海道大学農学部  
森林政策学研究室

助教 尾分 達也氏

現在の林業は、木を育てる段階から伐採して利用する段階になっているが、再造林放棄地は全国的な問題になっている。また、森林所有者の大部分が赤字、高額の初期投資、面積当たりの就業者が極端に少ない、土砂流失、環境破壊等の問題を抱え、持続的森林経営ができない状況である。

大規模生産・開発行為でない環境負荷の低い持続的



北海道大学農学研究院

な自伐型林業が、地域への人口流入の一つの手段としても地域に果たす役割が目ざれている。

副業的な位置づけとなり、新規参入のハードルは意外と高いデメリットもあるが、北海道は自伐型林業に取り組みやすいと考える。林業政策というよりは、地域政策として考える必要があるのではないか。

※自伐型林業とは

対象区間の木をすべて切る「皆伐」ではなく「間伐」を長期にわたって繰り返す。壊れにくい作業道の整備も行い災害の起こりづらい山づくりになる。

(記) 議会広報特別委員会  
委員長 大黒 敦子



## 公営塾「つなぐ」について

7月16日、興部高校の存続に向け「高校の魅力化を図り将来的な入学者の増をめざす」目的で、去年1月に開塾された公営塾「つなぐ」の施設概要・運営について調査を行いました。



令和5年1月に興部高校 3階に開塾（進学、就職サポ ート、学び直し、探究授業）	令和5年度 1千304万円
（具体的な取組み）	令和5年度 1千627万円
● 自立学習・ゼミ授業	令和6年度 2千138万円
● 生徒毎の個別指導の実施	
● 学校推薦・選抜対策	
● 授業サポート	
● 交流の場・居場所づくり	
● 小中学生の学習サポート 等々に取り組む。	
（事業費）	
令和4年度（1月末開塾）	
令和5年度 1千129名	46名
令和6年度（6月迄）	636名
（利用状況）	

調査の中では以下のような  
疑問がなされた。

**問** 施設利用費として教  
室使用料26万強を道  
に払っているが？

**答** 使用料としてはな  
く、道の積算額での  
電気代や灯油代として支払  
っている。

**問** 授業にも入るとい  
う事で教員とのすみ分  
けは。

**答** 高校側も授業サポー  
トを必要と理解し、  
教員と連携を取りながら授  
業補助として一緒に活動を  
進めている。

**問** 小学生、中学生に  
対しての活動内容は。

**答** 夏休み・冬休みの5  
日間の学習サポート  
を実施。昨年度から中学生  
を公営塾に呼んでサポート  
授業をしているが、中学校  
から「もっと増やして欲し  
い」との要望に応えて回数  
を増やしている。

**問** 公営塾の先生達は  
“地域おこし協力隊”  
という立場で来ておられる

ので高校の施設内に留ま  
らず子供達の関わりなど、持  
っていただければ。

町とのコーディネート  
として地域の様々な場に参加  
していただければ。

**答** 高校魅力化のひとつ  
である公営塾講師とし  
て地域おこし協力隊の制  
度を使っているが、地域  
おこし協力隊の隊員として  
募集したのではなく、塾講  
師として採用しています。

**問** 公営塾の最終目的は  
入学者の増に繋げる  
ところにあると思うが、生  
徒一人あたり約50万近いお  
金をかけているが、効果は。

**答** 確かに多額な経費を  
かけています。高校  
魅力化として例えば生徒が  
難関校へ進む支援ができる  
など、就職についても視野  
が広がり、入学時より少し  
でもスキルアップ出来る等  
の部分が高校魅力化への一

つとなつて、入学希望者が  
増えてくれればと効果を考  
えています。また、中学生  
にアンケートを取った時も  
“公営塾”があるから興部  
高校に進学したいと答えた  
子もいる。

### 【その他の質疑】

・ 中間業者（プリマペンギ  
ーン）への委託料の関係。  
・ 公営塾の情報発信は？  
・ 塾の利用内容の割合は？

その後、高校3階の公営  
塾「つなぐ」の教室を視  
察。生徒達の活動、勉強内  
容を見せてもらった。

（記…総務社会常任委員会  
副委員長 前田 義雄）



## 農畜産物加工センター視察・調査

令和6年8月23日、農畜産物加工センターについて産業振興課より説明を受けた後、町が当センターを貸付けている㈱オホーツククリンミート（以下「クリンミート社」）の代表取締役山本氏より、建物内部や製品製造工程等の説明をしていただいた。

当センターは、平成8年に竣工。クリンミート社は平成8年5月創立であり、町が筆頭株主となっている第3セクター。創立当初は、経産牛肉を使った地場産品で町を盛り上げることでしたが、その後豚肉加工へとシフトしました。

### 1 販売実績について

令和5年度の事業実績について、6月（一般製品・ハム・ベーコン群、ソーセージ群）と10月（ギフト製品）に値上げを実施。一方、豚枝肉相場の過去最高値や調味料・包装資材の値上げ等及び販売不振、令和4年度2億2千681万3千円に対し14・5%減の1億9千402万円。結果、当期純損失金が1千68万4千円に。

### 2 センターの修繕等について

令和2年度以降の主な修繕等については、冷凍機更

新工事1千368万4千円、空調機更新工事1千5

29万円等。現在床下内排水管改修（高温排水用の耐熱性硬質塩化ビニール管に交換）280万5千円の予算で工事中。

### 3 今後の課題、計画等について

修繕等の計画については、廊下や商品出荷口の空調整備更新のほか、屋根や外壁塗装が必要とのこと。

クリンミート社の製品は、令和5年度ふるさと納税総額の約15%を占めており、「おこっぺハム」ブラ



ンドの名を日本中に広めていただきたい。  
なお、頒布会会員は道外発送も含め568件であり、まだまだ伸びしろがあると思います。製品開発とともに今後の関係各位の尽力に期待します。  
（記…産業建設常任委員会委員長 鈴木 精二）

## 議会の動き

令和6年8月14日以降

- 8月14日・魚霊祭・海上避難者供養及び灯篭流し
- 16日・興部警察署夏季特別術科訓練納会
- 21日・第1回北海道興部高等学校間口確保対策協議会
- 22日・網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会役員会及び総会・研修会
- 23日・産業建設常任委員会所管事務調査
- 25日・遠軽駐屯地創立73周年記念式典
- 9月6日・議会全員協議会
- 〃・議員なり手不足検討特別委員会
- 12日・議会運営委員会
- 17日・乳牛感謝祭及び牛馬祭
- 18日・興部町敬老会
- 〃・広域紋別病院企業団議会事前説明

- 19日・第3回町議会定例会（1日目）
- 〃・議会広報特別委員会
- 〃・決算審査特別委員会
- 20日・決算審査特別委員会
- 〃・興部高校の将来を考える協議会
- 21日・イオン環境財団植樹祭
- 24日・決算審査特別委員会
- 〃・議会全員協議会
- 26日・広域紋別病院企業団議会定例会
- 〃・議会事務局長研修会
- 27日・議会運営委員会
- 〃・第3回町議会定例会（9日目）
- 30～
- 10月4日・総務社会常任委員会道外行政視察
- 6日・興部牛乳の里マラソン
- 〃・紋別市市制施行70周年記念式典
- 8～9日・第71回町村議会事務研究会
- 18日・議会広報特別委員会

- 20日・興部中学校興中祭
- 21～23日・遠紋地区市町村議会議長会道内行政視察
- 26日・第43回札幌おこっぺ故里会総会
- 〃・興部保育所お遊戯会
- 27日・興部小学校学芸会
- 〃・沙留小学校学芸会
- 28日・議会広報特別委員会
- 30～
- 11月1日・合同常任委員会・議員なり手不足検討特別委員会道内行政視察
- 3日・興部町功労者表彰式
- 5日・オホーツク町村議会議長会町村議会職員研修会
- 10日・沙留保育所お遊戯会
- 12～15日・第68回町村議会議長全国大会
- 〃・旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望活動

## 今回の 表紙

## 興部町公営塾『つなぐ』

今回の表紙は、興部高校に開設された公営塾です。  
取材日は9月26日。夏を思わせる様な暑い日でした。  
昼休みにお邪魔しましたが、生徒と公営塾の先生方の温かい交流を垣間見ることが出来ました。  
(12ページ 社会総務常任委員会所管事務調査も併せてお読みください)

生徒たちに話を聞いてみました。

「先生たちと色々な話や相談が出来たり、勉強もわからないことを丁寧に教えてくれる。お弁当を食べながら友達と一緒に過ごしたりする場所でもあるので、公営塾が閉まっている日はちょっと困ります。」とのこと。「先生たちの嫌なところは無いの？」と少し意地悪な質問をしましたが、「無い無い」と即答。先生たちも「今の質問、ドキドキしたねー」と、和気あいあいとした時間が流れていました。

担当するのは中村先生、天野先生、米田先生。  
生徒たちは毎日来る子も多く、学年関係なく交流が出来たり、学校に馴染めたり話せる友達を作る場所でもあるとのこと。  
点数にこだわらず幅広い支援ができる場所ではある



が、学習についても、個々がつまづいている部分は基礎的な部分とで、勉強の楽しさを感じる生徒もいる。勉強と居場所としてのバランスをとっていくこと、生徒のモチベーションをあげることで、そして生徒のニーズに合わせた支援をしていきたいとそれぞれの想いを語ってくれました。

親でもない、教師でもないという大人の存在が周りにあることはなんと幸せなことでしょう。生徒たちはその存在を身近に感じ、信頼し、公営塾が安心する居場所になっているのでしょう。

そして、生徒たちを全面的にバックアップするという先生たちの気持ち、先生たち自身のキャリアクターと、チームワーク、興部町を住みやすい良い場所だと言葉にできる感覚は公営塾の大事な基礎となっていると、感じました。  
(記…広報特別委員会  
委員長 大黒 敦子)

## 編集後記

私が沙留に戻り、家業である漁業に従事し36年。

今年の夏は流水の被害などで、始めて昆布を一度も採ることなく終わり、何か寂しく複雑な夏になってしまいました。暑さ寒さも彼岸まで……。四季の移り変わりを、皆さんも心配していることと思います。夜の沙留の海に煌々と輝いていた灯り。子供の頃の秋は、沖に街があるかのようでした。

そう！さんま船です。秋刀魚がなくなりイカも獲れなくなり漁火が消え、自らも沖に出ることがなくなった寂しさもあります。子供の頃からの秋の風景が懐かしく思い出され、そしてさみしさに変わっていきます。

さんま船の漁火は今年も、現れそうもないですが、紅葉をはじめ雪が降る前に少しでも今年の秋を楽しみましょう。

(記…議会広報特別委員会  
委員 竹内 清)

広報委員長 大黒 敦子  
副委員長 桑辺 博教  
委員 竹内 清  
委員 鈴木 精一  
議会議務局長 須田 寿史  
議会議務局主事 北崎 美緒